



年少・中児達の教室から賑やかな楽器を奏でる音が聞こえました！楽器の種類も徐々に増え、タンバリン、鈴、ウッドブロックに加え、太鼓・シンバル・鉄琴・木琴・マラカス… 年中児はさらに鍵盤ハーモニカも加え、これまでのリズム打ちから、それぞれ楽器毎のパートに分かれ、合奏の活動にレベルアップ！ 合奏という新たな楽しさが加わった音楽リズムの活動です（笑）

年長児達の教室からは生活発表会で演じるオペレッタの『台本読み』の声が聞こえていますよ（笑）

導入当初は「棒読み、だった子供達ですが… 読み込む内に、すっかり物語の中に入り込み、「プリンセスはプリンセス、っぽく、王子様は王子様、っぽく、悪役は悪役、っぽく…（笑） ストーリーに合わせて、想像を膨らませながら、そのキャラクターになり切って、夢中になって台本を読む様子がとっても可愛いです（^_-）☆



☆☆☆卒園児達の活躍☆☆☆

先日、春の甲子園大会出場を目指し、高校球児達が旧札幌ドームで熱戦を繰り広げていましたが、全道大会出場チームの登録選手名簿に数名の卒園児達の名前を見つけました。

札幌南に3名、函館中部に1名…この4人の子達の顔を思い浮かべ、真っ先に思い浮かんだのが「そういえば、この子達、ドッヂボールを夢中になって楽しんでいたなあ～！」でした（笑）

4人とも、つまみぐみの頃は泣き虫で、年少になってもいつまでも幼くて、教師達にあれこれとお世話ををしてもらひ… それでも、日を重ねる毎にちょっとずつたくましくなって、小さな努力にコツコツと取り組むようになり、卒園するまでに、心と体をしっかり育んだ子達です！

ドッヂボールの経験が、甲子園を目指す現在に直接結びついているとは決して思いませんが、幼稚園での小さな努力の積み重ねから、努力することの楽しさ・面白さ、を経験して、それを小学校や中学校生活でもしっかりと継続して『文武両道に繋がった！』のであればとっても嬉しいです（笑）

今年の年長児達のドッヂボール大会でも、彼ら4人のように、ドッヂボールを夢中になって楽しむ、子供達の姿を見ることができました。この子達も、「努力は楽しい！ 面白い！」をたくさん経験して、色々なことに挑戦して『可能性の翼・個性の翼』をどんどん広げてくれると嬉しいですね（笑）



冬将軍の足音が聞こえてくる季節になりました。根雪になるのはまだ先の話ですが、冷え込みが厳しくなると深夜に降った雪の影響で、路面状況が悪くなり、渋滞等の影響でスクールバスの運行に大幅な遅延が予想されます。バスの運行状況は、知らせてピュアーの他、幼稚園へ直接お問合せ下さい。

母親はいっぱい抱きしめて… 父親は膝の上から…

=母と子=

「子供に母親ほどのものはないんだね。 姿が見えないと、お母さん。 お腹がすくと、お母さん。 何かを探すにも、お母さん。 ちよっぴり痛くても、少しの熱でも、忘れ物をしても、お母さん、お母さん。 辛くなると、お母さん。 迷いがあると、お母さん。 いくつになっても呼ぶんだよね… お母さん。」

=父親と子供の風景=

「お父さん、僕が好き？ ああ、好きだよ。 僕、お父さん、大好きだよ。 お父さんも、悟が大好きだよ。 僕、だい、だい、大好きなんだからね。 お父さんだって、だい、だい、大好きだ！ 僕、もっともっと、大好きなんだ！ ああ、お父さんも、もっともっと、大好きさ！」

この二つの詩は、フジテレビ系「テレビ寺子屋」への出演歴のある坂本光男氏の詩です。

この二つの風景は、当たり前でごく平凡なことです。一緒に居る、衣食を整える、対話する、支える、手を差し伸べる… どれも普通で当たり前ですが、母親の「手作りの行為」が全て『愛』ですよね（笑）だから子供は、「ママ、ママ」と呼び続け、安心と信頼が漂い、人と人の温もりが伝わるのです。

母親の子育ては「抱きしめてあげることです！ 元気がないときに抱きしめてあげる。頑張ったときに抱きしめてあげる。嬉しいときに抱きしめてあげる。悲しいときに抱きしめてあげる。辛いときに抱きしめてあげる。我が子の「心」を全身で受け止めてあげる… 乳幼児期はもちろん、小学生、中学生、高校生になったとしても「心」を全身で受け止めてあげる！ お金や物では愛は伝わりません。手作りの子育てが一番です！

父親の子育ては「膝の上、で…！ 子供にとってパパの膝の上って居心地の良い場所です。それは、ママの抱きしめてあげるのと同じで、安心と信頼が漂い、温もりが伝わってくるからですね（笑）

我が子を膝の上に乗せ、互いに顔と顔を突合せ目と目で会話を交わす… その日にあった出来事やその時の感情に共感してあげる。父親の価値観や思いを伝える。パパと子で同じ方向を向いて、見えるもの、聞こえる音、匂い、etc に共感し合う、共有し合う。絵本の読み聞かせなども良いですね（笑）

よく欧米の映画のワンシーンに、就寝前のベットの中で、パパが絵本を読んであげたり、感情を共感・共有し合うシーンがありますよね。まさに、心と心を通わす子育てで、手作りの子育てです！

便利で豊かな現代社会は、お金や物で「愛」を伝える風潮にあると坂本氏は言っています。でも、お金と物では愛は伝わりません。親は「生きている姿と心」で子育てをすることが大事だと言っています。

「手作りの子育て、を大事にすることで、子供はちゃんと育ちます！